

第1期行動計画①

- 調査 アンケートやヒアリングから傾向分析し実践に向けての準備を行います。
- 実践 試行などの準備的活動も含め、実施します。
- 検証 実施を続けながら、数値などを把握し、検証します。
- 継続 検証に基づき、引き続き実施します。

方向性	基本方針	＜第1期行動計画＞	日帰り	宿泊	海外	国内	京阪神	市民	まつり好き	歴史・城	グルメ	自然・アウトドア	29年	30年	31年	第2期以降	
総合課題: ターゲットの 明確化	1.ターゲット属性の仮説を立て、 行動計画に反映	ターゲット分析、動態調査 各方面のデータ、統計を集め、岸和田への観光客のターゲットを設定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	調査	実践	実践	検証	
		宿泊施設 大阪府民泊条例(※)や岸和田市ホテル・旅館誘致条例(※)を含め経済効果の側面、動向や市場ニーズを見据えつつ調査研究を進める。			◎	◎	◎	○		◎	○	○	◎	調査	実践	実践	継続
個別課題A: コンテンツの 充実	2.インバウンド観光の推進	インバウンド向けインフラについての調査研究 二次交通、Wi-Fi、手荷物預かりなどについての調査研究を進め、受入環境の整備を推進。	○	○	◎				◎	◎	○	○	調査	実践	実践	継続	
	3.体験交流型観光の推進	だんじり文化を活用した体験プログラムの開発 だんじり彫刻、ミニだんじり製作、鉦・太鼓などのだんじり囃子体験といったプログラムを開発する。	○	○	◎	◎	○	○	◎					実践	検証	継続	継続
		観光資源を活かした体験プログラムの開発 農作物の収穫体験やまち歩きなど、コンテンツを充実させる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	実践	検証	継続	継続
	4.お土産、食などの充実と 地域活性化	岸和田ブランド(※)の活用 岸和田ブランドを観光資源として活用し、経済活性化へとつなげていく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	実践	検証	継続	継続
「岸和田ならではの」お土産開発 だんじりグッズや地元ならではの菓子などをお土産として情報発信し、販売促進につなげる。		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	実践	検証	継続	継続	
水産物・農産物の活用 岸和田発のにんじん「彩誉」、包近の桃、岸和田産シラスやイカナゴなどを観光情報に取り込み情報発信し、販売促進につなげる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	実践	検証	継続	継続	
スポーツツーリズムを意識した展開 2020(平成32年)東京オリンピック・パラリンピック、および関西ワールドマスターズゲームズ2021(※)を念頭に、本市ではBMX(※)などにおけるスポーツツーリズム(※)について研究しコンテンツに反映させる。		○	◎	◎	◎	○	○						◎	調査	調査	実践	検証

第1期行動計画②

方向性	基本方針	＜第1期行動計画＞	日帰り	宿泊	海外	国内	京阪神	市民	まつり好き	歴史・城	グルメ	自然・アウトドア	29年	30年	31年	第2期以降	
個別課題B: 効果的なプロモーションの実施	5.観光情報発信の強化	岸和田市観光振興協会公式サイト「岸ぶら」などのウェブサイト、SNSなどによる情報発信 岸和田観光のモデルコースやお土産などの情報充実と多言語化なども視野に入れ、宣伝活動を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実践	検証	継続	継続	
		ご当地キャラクターを活用した動画等による情報発信 有効な活用方法を調査研究しながら、情報発信を展開する。	○	○	○	◎	○			○	○	○	○	実践	継続	継続	継続
		旅行事業者などへの旅行商品化の働きかけ 本市の観光スポットや素材を提案し、旅行事業者などへのセールスを行う。	○	◎	○	◎	○			◎	○	◎	○	調査	実践	実践	検証
	6.ターゲット発地でのプロモーション	身近なターミナル拠点におけるプロモーション 関西国際空港や南海電鉄難波駅などで、ターゲット属性にあわせた積極的なプロモーションを検討、実施する。	○	○	◎	○	○			○	○	○	○	調査	実践	実践	検証
		広域連携活動における発地でのプロモーション 泉州観光プロモーション推進協議会、華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会などの他団体との広域的な連携を活用し、より広範な発地でのプロモーションを図る。	○	○	◎	◎	○			○	○	○	○	○	継続	継続	継続
	7.広域連携の推進	近隣市町との連携 近隣市町と連携し、エリアとしての相乗効果にて誘客を図る。	○	○	◎	◎	◎			○	○	○	○	継続	継続	継続	継続
		DMO(※)研究 泉州観光プロモーション推進協議会において進められている平成30年度のDMO設立に向けた研究に対し、本市でも歩調を合わせる。	○	○	◎	◎	○			○	○	○	○	○	調査	実践	実践

第1期行動計画③

方向性	基本方針	＜第1期行動計画＞	29年	30年	31年	第2期以降
個別課題C： 受け入れ体制の充実	8.観光人材の育成 市、観光振興協会、商工会議所だけでなく、産官学連携した観光人材の育成に取り組む。	職員向け研修の充実 現在も実施している「岸和田の魅力発見」等の受講者増を目指し、職員の人材育成を図る。	継続	継続	継続	継続
		講演会、ワークショップなどを通じての人材育成 岸和田市の魅力に精通した講師を招くなど、人材発掘を意識したワークショップやまち歩きを開催し、人しるべとなる人材を育成する。	調査	実践	実践	検証
		ボランティアガイドのさらなる充実 基本的なスキルアップのために、ガイド人材、組織の充実、インバウンド対応について調査研究する。	調査	調査	実践	検証
		岸和田市観光振興協会の独自事業の充実 岸和田だんじり会館、岸和田城などを活用し、岸和田市観光振興協会独自の事業展開を通じた人材育成を図る。	実践	検証	継続	継続
		教育機関との連携 大学などの教育機関と連携し、多言語による情報発信や世代・地域を広げた市場調査などを行う。	実践	検証	継続	継続
		観光客受け入れ体制の充実 おもてなしサービスの充実を図るべく、アンケート調査を行い質的向上や多言語対応を行う。	調査	実践	検証	継続